

LGBTのTにあたる人が、こんなことを言っていました。「カミングアウトした若いLGBTが、最近いろんな場で自身の生い立ちや思いを語っています。差別や偏見をなくしていく上で肯定的に受け止められているけれど、私は危惧を抱いています…」。

この人は、若いLGBTが語ることで自分をとやかく言ったのではありません。言いたかったのは、おそらく次のようなことです。

差別・偏見の対象だったLGBTを、時代の要請で受容する必要に迫られた市民社会の大多数の人びとにとって、「見た目」が良くて「普通で、感じの良い」タイプが揃う若い世代のLGBTは、なるほど受け容れやすい。そこで、

このタイプだけを見てLGBTを受容した気になる。けれどもそれは、じつは線引きを付け替えただけ、LGBTを新たに「受け容れやすい／にくい」に分けただけであって、受け容れにくいほうのタイプを忌避・差別する感情は、なまじい自分は「まともな」LGBTをちゃんと受容していると錯覚している分、むしろ強化されていくのではあるまいか…。

LGBTの中には、社会の強固な価値基準である「見た目」に抗い、自分らしい生き方を選んだがゆえに、周囲の差別・偏見にさらされてきた人も少なくないでしょう。こうした人たちにとって、LGBTへの差別・偏見を「見た目」の受け容れやすさを通じて緩和しようとする手順は、確かに「危惧」に値するだろうと思います。

第47・48回 ヒューマンライツ・シアターを開催しました

12月26日に植木文化ホールで「聲の形」を、また、2月27日には健軍文化ホールで「海難1890」を上映しました。2つの作品を通して、障がい者や子ども、また外国人の人権（多文化共生）について考えることが出来ました。

両日とも、学生ボランティアや人権サポーターの皆さんによる啓発チラシ配布等の啓発活動もあわせて行いました。

◆ 来場者から寄せられた感想 ◆

- 障がいがあってもなくても、人は自分と向き合い生きていくのだと教えられた気がします。もっと優しい人間になりたいと思いました。
- お互いに助け合うことは必要だと考えていましたが、余力のないようなどきでも、できる限りのことをして助け合うことの大事さを感じました。
- 同じ状況になったとき、自分がどれほどのことができるか考えさせられました。

学生ボランティアの皆さん

人権啓発DVD・ビデオ・紙芝居をぜひご利用ください!

熊本市人権協では、人権啓発のためのビデオやDVD、紙芝居の貸し出し【1回につき1週間（7泊8日）】を無料で行っています。

★ご利用は、事前にお電話での予約で承っております。

詳しいご利用方法は、啓発ご担当者様へお送りしております「ビデオ・DVD・紙芝居」の1ページ目、または人権協ホームページ（http://lovemin.jp）をご覧ください。

健康に復興しよう!

一般財団法人 熊本市社会教育振興事業団

各種スポーツ教室・文化教室開催中!
http://kc-sks.com

熊本市総合体育館・青年会館 TEL:096-385-1010
浜線健康パーク TEL:096-379-6020
南部総合スポーツセンター TEL:096-350-4311
アクアドームくまもと TEL:096-350-2711

託麻スポーツセンター TEL:096-380-6177
水前寺野球場・競技場(競) TEL:096-381-9323
熊本市子ども文化会館 TEL:096-323-0505
熊本市健軍文化ホール TEL:096-368-1221

これから、この街で皆さまと一緒に

上野なくしも築家する鶴屋のアーチ。

鶴屋
TEL:096-328-2111

熊本保健科学大学
Kumamoto Health Science University

〒861-5998 熊本県北区 2-2-25 TEL:096-277-2111 (総機)

・医学検査学科・看護学科・リハビリテーション学科(理学療法・作業療法・言語療法)

つばめ限定! 九州ネット早特7

熊本二博多

2,350円 (こども1,170円)

Voice 会員の皆様より、社会貢献活動または人権啓発への取り組みについてお話しできます。

株式会社NTTドコモ 熊本支店
岡園 勇治 支店長
(平成29年度 理事)



NTTドコモでは人権に関する基本方針を制定しており、「全ての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である」という世界人権宣言に則り、差別やハラスメントの起こらない人権を尊重する職場づくりをめざしています。また、「倫理方針」や「人権に関する基本方針」を定め、人権啓発活動を推進しております。

近年、欧米諸国の通信事業者を中心に課題認識が深まっているICT産業特有の人権問題であるインターネットやソーシャルメディア、通信機器を介したコミュニケーションでの表現の自由とプライバシー保護について人権の侵害がないように注意を払っています。

人権啓発活動として、人権にちなんだ標語・ポスターの募集を行ない人権週間にあわせて優秀作品の表彰を毎年実施しており、2017年度は標語の応募総数約30,000作品、ポスターは応募総数約150作品でした。また、社内のウェブサイトを活用して人権に関するメールマガジンを定期発信、ウェブ研修や映像教材などを活用した全社員研修を実施するなど、全社員の人権意識の醸成に向けた取り組みを実施しています。

NTTドコモは2020年の東京オリンピック・パラリンピックのゴールドパートナーとして、民族・国籍の違いや障がいの有無等、各人の違いを超えて安心した生活ができるユニバーサルな社会の実現をめざし、多様性を認め合うことの価値を更に発信してまいります。

21世紀は「人権の世紀」と言われています。NTTドコモでも人権を尊重することの重要性を正しく理解・実践して、明るい実りある未来をめざしていきたいと思っております。

熊本市人権啓発市民協議会

平成30年度 理事会・総会を開催いたします。

日時 平成30年**5月23日**(日) 場所 **ニューオータニホテルズ ザ・ニューホテル熊本**

お忙しいことは存じますが、人権協会員の皆様はぜひご出席ください。なお、ご案内には各企業・団体の代表者様宛にお送りいたしますので、出欠のご返信にご協力をお願いいたします。

理事会のあと総会を行い、トップセミナー(講演会)を開催します。(詳しい日程は後日ご案内いたします) また、トップセミナー後には交流・懇親会を予定しております。

会員情報変更のお届出はお済みですか?

熊本市人権啓発市民協議会では、会員の皆様へのご案内などをスムーズに行うため、住所や連絡先、代表者、啓発担当者のお名前等の情報を登録しております。

人事異動等により登録情報の変更が発生された場合は、「変更届」のご提出をお願いします。変更届の様式は人権協事務局にてご用意しますので、下記までご連絡ください。

なお、2月15日には、登録情報の年次調査をお送りしております。こちらは総会でお配りする会員名簿の元資料となりますので、調査票の速やかなご返送にご協力をお願いいたします。

ご連絡先
熊本市人権啓発市民協議会事務局
〒860-8601 熊本市中央区手取本町1-1
熊本市役所13階 人権推進総室内
TEL 096-328-2333
FAX 096-324-2105
MAIL jinken@city.kumamoto.lg.jp

株式会社 杉養蜂園

マルス印

〒861-5335 熊本県熊本市北区阿賀1571-15
TEL:096(245)5538 FAX:096(245)5525 杉養蜂園 (株)

URL:http://www.0038.co.jp [Email]:info@0038.co.jp

がんばろう 熊本

メガネのヨネザク

メガネ・コンタクトレンズ・補聴器・福祉機器

本店 ☎096-383-5111 フリーダイヤル 0120-114-692
熊本市中央区水前寺6-1-38
熊本・福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島・山口
http://www.yonezawa-web.co.jp/

熊本リビング新聞社が企画・運営するカルチャースクール

LIVING Culture Center

ダンス・音楽・書道
絵画・手工芸・キッズetc.

あなたにピッタリの講座を見つけよう!

TEL.096-370-1112 熊本市南区田井島1-2-1 (ゆめタウンはまぜ 本館2階)
リビングカルチャーセンター

黒糖 ドーナツ棒

沖繩産黒糖・国内産小麦粉

株式会社 フジパンビ fullbambi.co.jp
TEL:0120-88-5910 FAX:0120-77-5910
〒861-5515 熊本市北区四方寄町 1445-1

ひとりで悩まず相談を みんなの人権110番

セクハラ、パワハラなど 気軽に相談ください

0570-003-110

受付時間 平日午前8時30分～午後5時15分

秘密は守ります。人権擁護委員又は法務局職員が相談に応じます。
熊本人権擁護委員協議会・熊本地方法務局

人権イメージキャラクター AKENあゆみちゃん

一緒にボランティア活動致しましょう (会員募集中)

熊本市地域婦人会連絡協議会
電話・FAX: 096-353-5496

LOVEMINDAYORI

ラブミンだより

人権協ニュース 第47号 (年間4回発行 春夏秋冬号) 発行日: 2018年3月31日
発行: 熊本市人権啓発市民協議会 印刷: 社会福祉法人熊本県コロニー協会
〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号 Tel (096) 328-2333 Mail:info@lovemin.jp HP:http://lovemin.jp/

2018 春号

人権協30周年記念講演会

池上 彰「防災を人権の観点から考える」を開催しました

熊本市人権啓発市民協議会30周年記念講演会

講師 池上彰 防災を人権の観点から考える

平成30年1月10日(水)、市民会館シアーズホーム夢ホールにて、池上彰さんをお迎えして、「人権協30周年記念 池上彰 防災を人権の観点から考える」という演題の講演会を開催しました。

当日は、熊本地震発生後、復旧工事等で休館になっていた市民会館の再スタートの日でもあり、テレビ番組などで「分かりやすい解説」でお馴染みのジャーナリスト池上彰さんの講演を聴講しようと人権協会会員を含む市民の皆さん約1,600名の方で会場は埋め尽くされました。

講師の池上さんは、地震で経験した事は記録にとどめ、記憶に伝える事が、未来の子どもたちの人権を守るためにも大切と呼びかけ、阪神大震災や東日本大震災などの取材経験を基に、浮き彫りになった課題を紹介されました。

熊本地震でも、車中泊などによるエコノミー症候群等の震災関連死が相次いだ事から人権が守られたとは言えなかった等の指摘をされ、熊本モデルとしてなぜこのようなことになったのか、どうすれば防げたのか、今後繰り返さないようにそれぞれの立場で検証し、それを伝えていく事が大切と話されました。

当日は、熊本市人権サポーターズ・ボランティアクラブの皆さんのご協力で会場案内等や来場者に人権協の紹介と熊本市の主要人権課題等を掲載した当日パンフレット、人権相談や部落差別解消のチラシ等を配布しました。また、ロビーでは人権啓発のパネル展示、啓発冊子の掲示や配布等を実施しました。

講演後の1月17日には、KABのテレビ番組「くまパワ」のコーナーで講演会の様子や当日収録された池上彰さんへのインタビューが放映され、多くの市民の方への「防災と人権」という観点からの「人権啓発」へと繋がりました。

